

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年 3月 1日

事業所名 子ども発達未来塾 のぞみ 保護者等数(児童数) 9名 回収数 9名 割合 100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	3			小さな部屋や違う部屋にも行けたり楽しく過ごせそう。	子どもたちに安全で意欲や安心感を持っていただけるような環境作りに継続して取り組みたい。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6			2	すべての職員さんを存じていないので分からない	配置は適切だが、支援により効果的な配置の工夫を図っていききたい。(保護者の回答のうち一件は未記入)
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9				高齢者のデイサービスの利用者やスタッフから話が聞けることもある。	併設の利点を活かしてバリアフリーの配慮を進めるとともに障がいに応じた配慮について幅広く留意していききたい。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	6			3	昨年8月以降の個別支援計画、9月中頃に計画相談の計画を頂いている。	専門性や組織性を駆使し適切な計画作成に努めたい。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	7			2	いろいろなことをしていただいているようで楽しそうでした。	アセスメントの精度を上げるとともにうまくプログラムに反映されるようにしより意欲関心の持てる内容を提案していききたい。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6			3	障がいのない子どもたちともかかわりを持ってとてもありがたいです。	交流が図られているので周知を図って行きたい。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1		1	実施されていた療育が終わってからの支援の方向性について不安がある。	今後の方向性について説明や相談をしながら取り組みたい。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	1				送迎時の話し合いや連絡帳を基本に共通理解の深まりが生まれるようにしているが、今後直接的な関わりの機会をより増やしていききたい。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1		2		保護者との面談相談などを通じ要望や悩みを把握対応していききたい。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	2	4	デイでの様子や一日の流れが見られる参観日のような日が年に1回くらいあるとよいと思う。	保護者連携の強化とともに保護者間のつながりの大切さを踏まえ討議の上、提案支援していききたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		3		契約時に対応の体制について説明している。実際にあった場合は迅速かつ適切に対応に努めたい。
12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	1		1		文書や会合など幅広い取り組みを通じ意思疎通、情報伝達が効果的に充実した内容で実施できるようにしたい。	

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3		4	長期休みのイベントなどが楽しいようで心待ちにしているのに、時間場所などの詳細を早めに教えていただけるとありがたいです。映画鑑賞に行けず残念そうでした。	自己評価の結果分析等の公開も含め利用者保護者向けの情報をイベント情報なども含めタイムリー積極的に発信し情報共有を図る中でより前向きな取り組みを展開したい。
	14	個人情報に十分注意しているか	7	1		1	facebookに顔を出している子がいたので「良かったのかな？」と思いました。	個人を特定する内容は発信しない、書庫は施錠するなどしっかりとした管理に努めているが、常に注意を怠らないようし保護者との意思確認や心情などを大切にしていきたいと思います。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	1	1	4		マニュアルはかなり整備されており職員間の周知はされているが、保護者に対しては、周知が不足し不安や不満につながっていると思われるのでいつでも供覧できるようにし安心や満足につなげたい。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	2	1	5		実施されているものの周知が不足しているの上記と同様徹底を図って行きたい。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	8	1			楽しみにしています。	「楽しさ」を基本に据えて実施していきたい。
	18	事業所の支援に満足しているか	8	1			今後も個人の療育(SST、ワーキングメモリなど)や勉強面を見ていただけるとありがたいです。	一人一人の声要望に耳を傾けていきたい。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 1日

事業所名 子ども発達未来塾 のぞみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			子どもたちに安全かつ意欲や安心感を持っていたけりような環境作りに継続して取り組みたい。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			高齢者サービス併設の利点を生かしてバリアフリーの視点で支援を進めるとともに障がいに応じた幅広い配慮について留意していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		保護者の評価結果と合わせ分析し保護者の思いを大切にした支援や連携の強化に向け討議提案の上実施して行きたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		本自己評価より実施していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後情報を得て、実施について検討したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			より幅広い職員に研修機会を提供しその内容を全体にしっかり周知できる体制を取って行きたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者への聞き取りや相談機会を増やすよう意識している。	専門家の関わりによりしっかりした分析が行われてきたが、今後はそれが現場の実践に、より生かされるようにしていくとともに相談支援などの外部機関との連携も更に強め計画に生かされるようにしたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			今後も専門家との連携を継続強化する中でアセスメントツールが現場の計画により生かしていけるよう意識的に取り組みたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○		職員間で意見を出し合える体制を整えるとともに専門家との連携を強め日常生活支援の中で生まれるニーズや課題にしっかりと向き合えるようにしたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			アセスメントの精度を上げるとともにうまくプログラムに反映されるようにし、利用児がより意欲関心の持てる内容にして行きたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		今後更に幅広く魅力的効果的な課題・プログラム設定を行なって行きたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			適切に行なうとともに、学童クラブや高齢者サービス併設の利点を生かし、技術や社会性の向上を図るなど効果的支援を行なえるよう計画化して行きたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員間のコミュニケーションをしっかりと取り取るよう努めている。	継続引継ぎが更にスムーズに行われるよう工夫して行きたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間のコミュニケーションをしっかりと取り取るよう努めている。	継続引継ぎが更にスムーズに行われるよう工夫して行きたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録が取りやすいような書式にしている。	

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		日々の記録をモニタリングに生かしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドラインを常時閲覧しやすいようにしている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			会議とともに日常的な情報意見交換に努めたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		問題発生時等に機敏に連絡連携できている。	日常の連絡連携体制と併せ、状態像や支援内容などの情報共有にも意識して取り組みたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		今後、外部機関などとの連携を強め情報入手・提供や学習を深めていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		今後、より連携を強め情報入手・提供や学習を深め実施していけるようにしたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		資料としてまとめている。	卒業による移行のケースはないが、他事業利用の方への情報提供は行なった。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			今後、更に連携を強めアドバイスや研修を受ける中で支援の質向上を図っていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			併設されておりその利点を生かし、技術や社会性の向上など支援がより効果的に行なえるよう努めていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			外部会議には、機会があれば参加し情報共有に努めている。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時などに意識的に伝達の機会をもつようになっている。	送迎時の話し合いや連絡帳の記録などを基本に共通理解の深まりを目指しているが、今後直接的な関わりの機会を少しずつ増やしていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者との連携を強める動きと併せ検討していきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			分かりやすく説明するとともに掲示など閲覧環境もより充実させていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			今後も傾聴的態度で接するなどして話しやすい人間関係を目指すとともに相談しやすい環境や体制作りを努める。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者との連携強化とともに保護者間のつながりの大切さを踏まえ討議の上、側面的に援助していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時にその内容と体制について説明している。	契約時の説明を継続し、問題が発生した際にはその手順に従い誠実に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		今後討議の上、実施を目指したい。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報を含む書類などは鍵付き書庫にて保管している。	個人を特定する内容は発信しない、書庫は施錠するなどしっかりと管理に努めているが、常に注意を怠らないようにし保護者の意思確認や心情などに配慮してすすめる。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			利用者保護者向けの情報をイベント情報なども含めタイムリー積極的に提供発信し情報共有を図り前向きな取り組みを展開したい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルはかなり整備されており職員間の周知はなされているが、保護者に対しては、周知が不足し、不安や不満につながりやすいと考えられるためいつでも供覧できるようにしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			実施されているものの保護者への周知が不足しているので徹底を図って行きたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止法の目的・責務を踏まえより充実した内容で効果的に実施していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	人権擁護の立場で支援に当たっている。	これまで該当ケースがなく実施していなかったが、スムーズに実施できるよう準備を進めたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		生命に関わることとして緊密に連携確認を取るようになっている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	個々の事例について打ち合わせ時には確認している。	情報を集積共有し事故防止などにうまく活用するようになりたい。